

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.118

萩ジオパーク推進協議会

| 2025年1月1日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

新年あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願ひします。



昨年は、元旦の能登半島地震を皮切りに、集中豪雨や台風などの自然災害が多発しました。被災された皆様に心より哀悼の意を表します。また、夏の猛暑や11月に入っても続く夏日など、地球環境の変化を強く意識させられる一年となりました。

萩ジオパークは日本ジオパークネットワークの一員として、地質や地形から、揺れる、崩れる、噴火する、流される不安定な大地の特徴を学び、歴史や文化から、厳しい自然の中で生き抜くための繊細な感覚や知恵を習い、今を生きる日本中の人々の心の中に、大地と向き合い、受け入れ、共に生きる意識を育むことを目指して活動しています。

本年も、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げるとともに、大地と人のつながりを体感し、今の暮らしを見直し、未来について考え、意識した行動のできる人を増やすための取り組みを共に進めてまいりましょう。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

萩ジオパーク推進協議会事務局

「鳶のクリスマス」

笠山山頂展望台『鳶ノ巣』でクリスマスイベント「鳶のクリスマス」を開催しました（12/3～25）。期間中、カフェではクリスマス限定メニューの販売、萩の木材を使った「鳶ノ巣オリジナルクリスマスツリー」の展示も行いました。

12月21日・22日には、クリスマスグッズや笠山の地形模型をつくるワークショップを開催し、子どもから大人の方まで参加されました。クリスマスグッズとして、「さざえの殻を使ったキャンドル」と「萩の竹紙を使ったミニクリスマスツリー」を参加者の方に作成いただきました。キャンドルのさざえの殻は、目の前の海でとれた角のある大きなもので、中に自分好みの色の蠟を流し込んでつくります。また、ミニクリスマスツリーの材料となる竹紙は普通の紙とは違った手触りで、水を使って紙を切る水切りでツリーの形をつくります。参加者の方は自分好みの色や形に仕上げた、自分だけのオリジナルのグッズの作成を楽しんでいらっしゃいました。笠山の地形模型づくりでは、約1万年前に笠山が噴火したように、山頂からマグマが流れている姿をイメージして、色塗りをされていたお子さまもいらっしゃいました。



「大地の日」

12月15日、三見公民館で「大地の日」を開催しました。

今回は、パネル展示で「描かれた萩の大地 三見編」として、江戸時代以降に描かれた絵画や絵図を通して、三見の大地の上で営まれた過去から現在に至る人々の生活や文化などを紹介しました。三見は赤間関街道の宿場町として栄え、田んぼや民家の位置は今もあまり変わっていません。来場者の中には、熱心に展示を観覧される方もいらっしゃいました。

また、同時開催の「地球を食べる食堂」では、魚のアジを食材としてとりあげました。生産者の飯田さんからは、三見には定置網があり、網に魚がどのように入ってくるのかや、定置網漁での大変な作業などをお話し頂きました。お話しの後には、三見漁協女性部の皆さんにご協力いただき、本日のメニューである「アジピザ」を料理しました。

今年度、「大地の日」は月1回、第3日曜日に各地で開催しています。今後、1月19日は大井公民館、2月16日は萩セミナーハウスで開催します。是非お越しください。



第2回萩ジオアカデミー 身につけよう! 地理学目線のまち歩きの見極め (実践編)

地理学がご専門の楳原京子先生（山口大学・准教授）を講師にお招きして、第2回萩ジオアカデミーが11月30日に佐々並で開催されました。「佐々並を宿場町として支えた自然環境」「近世の宿場町として栄えた痕跡」「まちを支えた人々の暮らし・工夫」「時代と共に移り変わった町の機能の痕跡」という4つの視点で、佐々並の伝建地区を歩きました。それぞれの参加者目線で佐々並の町並みを見つめ、地理情報システムを活用して情報を共有しました。今まで気づけなかったちょっとした高低差や町中に流れる水路、石垣の石、昔の人々の生活の痕跡など多くの発見がありました。この講座を通してまち歩きの見極めが変わり、散歩したり、車を運転したりしていても今まで見えなかったことが見えるようになってきました。



今月もいろんな依頼に対応いたしました。

12月1日、生涯学習について学んでおられる社会人大学院生が北海道から来られ、城下町と笠山をご案内しました。萩ジオパークが重視している体験型の手法を紹介しました。江戸時代、地域内で大地に寄り添った生活をしてきたんだよね、大切だねといった、ちょっとしたつぶやきがうれしかったです。12月2日は山口県立萩商工高等学校2年生99名が地理総合の授業でクラス毎にジオパークビジターセンターを見学に来られ、展示内容を概説しました。12日は萩市の食育を支える会研修会が、「萩の大地と魚」というテーマで開催され、「萩の魚はなぜおいしい?」と題して、萩の島や海底の成り立ちを実験で学んでいただき、今後の課題についても触れました。17日は茨城県のミュージアムパーク茨城県自然博物館の学芸員が、令和8年に予定している企画展準備のために、須佐ホルンフェルス関連の資料調査のお手伝いをしました。多様な内容でお声かけいただき、ありがとうございました。



地層を焼いたマグマを紹介

第19回日本ジオパークネットワーク全国研修会 in 伊豆半島に参加

第19回日本ジオパークネットワーク全国研修会が12月8日～10日に静岡県沼津市で行われ、事務局から1名が参加しました。今回の研修は、ユネスコが求める「持続可能な開発の最前線」という国際的な理念も反映しながら、ジオパークが目指すべき地域像やジオパークならではの地域創生のあり方を模索するとともに、地域を担う人づくりについても理解を深めることを目的に開催されました。…と書くと難しく感じてしまいがちですが、地域の担い手を増やすにはジオパークに興味を持ってもらわなければなりません。そのために、まずは萩を好きになってもらうことが第一歩なのだと思います。今回の研修で使用されたテキストはビジターセンターにも置いてありますので、興味がある方はぜひ読んでみてください。



わっきー教授のジオ・ワールド

⑦花崗岩の島：サルディーニャ島（イタリア）

サルディーニャ島は、イタリア半島の西に浮かぶ島で、地中海ではシチリア島の次に大きな島です。すぐ北側には、ナポレオンの出身地であるコルシカ島があります。多くの美しいビーチが点在するコスタ・ズメラルダ（エメラルド海岸）を代表とする美しい海岸に囲まれた島でもあり、イタリアの高級リゾート地になっています。サルディーニャ島の東半分と南部には、花崗岩が広く分布しています。この花崗岩は今から約3.4億年前から2.6億年前に形成されました。この時代は、萩ジオパークの半田地区（半田くんの実家）の石灰岩が出来た時代と同じです。花崗岩は、雨や風による風化の影響を受けやすいので、長い年月で不思議な形に削られていることが多いです。写真に示した花崗岩もそのような花崗岩の一つです。岡山県倉敷市六甲（むぐち）島の象（ぞう）岩（国指定天然記念物）も、似たような形に風化した花崗岩です。花崗岩をみかけたら、不思議な形に風化した岩を見つけてみませんか？それも、ジオパークの楽しみの一つですね。



サルディーニャ島地形図（Google Earth）



花崗岩の岩塊
（ワッキー教授のカメラによる撮影）

【予告】ジオガイド養成講座＆萩ジオパークフェア2025開催

どちらも詳細は次号の協議会だよりや協議会 WEB ページでお知らせします。

○ジオガイド（インタープリター）養成講座

開催日時：令和7年2月（平日の3日間を予定）

主会場：ABU キャンプフィールド（阿武町）

内容：インタープリティション（体験を通じて伝える）技術の習得に向けた講義や実践演習。

講師：（一社）をかしや代表 菊間彰

受講料：無料



○萩ジオパークフェア2025

年に1回の萩ジオパークの祭典として、それぞれの場所でジオパーク活動を行っている皆さんが一堂に会して大地と人のつながりが感じられる体験を提供します。

開催日：令和7年3月9日（日）

開催場所：ABU キャンプフィールド（阿武町）

おめでとうございます！

萩ジオパークパートナー「三好蒲鉾」さんの製品が全国表彰！

萩ジオパークパートナーである有限会社三好蒲鉾様の無添加かまぼこ「萩」が第63回農林水産祭の水産部門において天皇杯、内閣総理大臣賞に次ぐ全国3位となる日本農林漁業振興会会長賞を受賞されました。山口県の練り製品では初受賞です。

三好様には2022年の体験型食育講座「地球を食べる食堂」に講師としてご登場いただきました。蒲鉾製造に対する思いを語っていただいた動画を萩ジオパーク公式 YouTube チャンネルでご覧いただけます。



1月の予定

- 萩ジオパーク「大地の日」 1月19日(日) 10:00～14:00 場所:大井公民館 内容:野外でのアウトドア体験や室内での実験や工作体験、地球を食べる食堂 主催:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

